

令和6年度 学校評価実施報告書

学校番号 51

千葉県立松戸六実高等学校

全日制の課程

領域	自己評価の結果 (達成状況・結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①地域の夏祭り、社会福祉活動、ボランティア活動への参加をとおして、学校外での学びや活動の場を広げることができた。</p> <p>②WEBページの更新、内容の充実をはかり、積極的な情報発信を行うことができた。学校評価において、保護者の82.5%（前年度は71.6%）が「学校のホームページは、随時更新され、情報が豊富で充実している。」と回答している。</p> <p>③学校評価アンケートにおける「業務改善」「働き方改革」に対する肯定的回答は、昨年度の42.3%から63%に上昇した。</p>	<p>①地域からの信頼、期待を得ると共に、生徒の自己有用感を高め、教育的効果も大きい。今後も積極的に地域との連携をはかっていたい。</p> <p>②WEBページについては、より多くの職員が関わり、内容を充実させていきたい。</p> <p>③ICT機器を活用した、業務の効率化を進めてきた。より一層の効率化と、職員の意識改革を推進していく。</p>
学習指導	<p>①学校評価アンケートにおいて、生徒の85%が「全般的に授業は分かりやすく、学習指導に満足している。」、86.6%が「授業中、生徒同士での意見発表する場面がある。」と回答している。一方「私は、家庭学習の習慣が身についている。」と回答した生徒は、昨年度の45.2%より若干上昇はしたものの、49%にとどまった。悉皆研修の対象職員を中心に、研究授業を実施し授業力向上を図った。</p> <p>②ICT機器の活用については「スタディサプリ」を活用した到達度テストを実施、生徒の学力の客観的な把握をはかった。</p>	<p>①「スタディサプリ」等、ICT機器、学習アプリケーションを活用し、個に応じた主体的な学習の機会を提供していく。家庭学習や塾、予備校に頼らず、学校で十分に学習させ、学力を身につけられるようにしたい。研究授業にこだわらず、相互に授業を参観する機会を設け、授業力の向上をはかりたい。</p> <p>②学力向上委員会を中心に、ICT機器の活用について研究、実践をさらに進めていく。</p>
生徒指導	<p>①学校行事に対する生徒の満足度は91.5%、目標（75%）を大幅に上回った。また、生徒の89.4%が「私は、充実した学校生活を送っている。」と回答している。</p> <p>②生徒の情報交換会を年4回実施し、生徒情報の共有をはかった。スクールカウンセラーによる教育相談職員研修を実施した。学校評価アンケートにおいて、生徒の79.9%が「先生方は生徒一人一人をよく理解するよう努めている。」、87.2%が「先生は悩みや相談に親身になって対応してくれる。」と回答している。</p> <p>③学期毎に「学校生活アンケート（いじめアンケート）」を実施し、早期把握、早期解決を組織的に行った。学校評価アンケートにおいて、生徒の87.9%が「本校は、安全で安心できる学校である。」と回答している。</p>	<p>①引き続き、生徒が中心となって学校行事の企画、運営を行い、自己有用感を得られる経験をさせる。主体的に考え、判断し行動できる力を育み、生徒の主体的な変容をはかっていたい。</p> <p>②情報交換会を充実させ、確かな生徒理解に基づく丁寧な生徒指導の実践を進めていきたい。</p> <p>③今後も早期把握、早期解決に努めると共に、引き続き人権に対する意識の涵養、いじめの「予防」に取り組んでいきたい。</p>
キャリア教育	<p>①分野別、学校別ガイダンスなどを体系的、計画的に実施し、個に応じた実践的な進路指導を行った。学校評価アンケートにおいて、生徒の89.9%が「本校は、進路希望に応じたきめ細かな進路指導が行われている。」と回答している。</p> <p>②中断していた小学校インターンシップを再開し、保育園インターンシップ、看護医体験等に多くの生徒が参加した。</p>	<p>①学校評価アンケートにおいて、生徒の83.6%が「卒業後の進路についての情報が豊富である。」と回答している。進路実現のため、積極的に情報を収集し学習に取り組むなど、生徒の主体的な活動を引き続き支援していく。</p> <p>②引き続き職業理解教育を充実させ、生徒の主体的な進路選択、活動を支援していく。</p>
特色ある教育活動	<p>陸上競技部、弓道部、吹奏楽部が全国大会に出場し、書道部が全国大会で最高位を2年連続で受賞した。学校評価アンケートにおいて、生徒の91.4%が「本校の部活動は、充実した活動を展開している。」と回答している。</p>	<p>生徒自らが考え、判断しながら活動を行い、生徒主体の場面を設ける。引き続き、持続可能で充実した部活動による、生徒の成長支援を進めていく。</p>

自己評価・学校関係者評価・今後の改善方策の公表	令和7年3月、アンケート結果及び自己評価・学校関係者評価を本校WEBページにて公表する。
-------------------------	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度にむけた改善策)
学校経営	<p>①地域行事、ボランティア活動に多数の生徒が参加しており、地域は学校に期待している。中学生が憧れる学校、高校生の姿になっている。</p> <p>②WEBページについて、保護者向けの連絡等を広く掲載し、より一層の充実をはかってはどうか。</p> <p>③小、中学校では、部活動の地域活動への移行が進んでいる。業務の大胆な見直し、精選が必要である。</p>	<p>①地域行事、ボランティア活動への参加は、生徒の自己有用感を高め、多くの生徒が地域に育てられている。次年度は、地域の方が授業を参観する機会を設定するなど、より一層地域との交流を進めていきたい。</p> <p>②多くの職員が関わる形で、WEBページの充実をはかりたい。広く一般に公開されていることを踏まえ、内容によってはメール配信等を活用していきたい。</p> <p>③ペーパーレス化により、業務改善を進めている。業務の平準化、再分配をはかると共に、教職員の意識改革が必要と考えている。</p>
学習指導	<p>①②家庭学習に関する評価が低い、何のために学習するのか、主体的に選択し学習する姿勢が必要である。塾に通うことで学習したと思っているが、塾だけで学力は身につかない。自分で学習する姿勢が必要である。</p>	<p>①家庭学習や塾、予備校に頼らず、学校で十分に学習させ、学力を身につけさせたい。</p> <p>②ICT機器の活用により、個に応じた主体的な学習の機会を提供し、自分で学習する姿勢を育てていく。</p>
生徒指導	<p>①文化祭を参観したが、全力で楽しんで取り組んでいる姿が素敵であった。小学校では清掃活動に力を入れている。清掃活動に対する職員の意識はどうか。検討してほしい。</p> <p>②素直で、やさしい生徒が多いと感じる。卒業してよかったと思える学校である。</p> <p>③SNS利用をめぐるトラブル、SNS上での見えない「いじめ」が心配される。</p>	<p>①生徒が中心となって学校行事の企画、運営を行い、自己有用感を得ている。引き続き主体的に考え、判断し行動できる力を育み、生徒の主体的な変容をはかっていきたい。清掃について、生徒はよく取り組んでいる。大規模改修により、学習環境の整備を進めているところである。</p> <p>②多様な生徒が入学している実態を踏まえ、個人面談、情報交換会を充実させたい。確かな生徒理解、情報共有に基づき、スクールカウンセラー等と連携しながら、チームで行う丁寧な生徒指導を進めていく。</p> <p>③SNSの利用については指導を重ねているが、トラブルは多く、なかなか改善されない。引き続き、SNSを利用する際の留意点について、繰り返し指導を行いたい。「いじめ」については「予防」に重点を置きながら、早期把握、解決に引き続き努めたい。</p>
キャリア教育	<p>①生徒の満足度は高いが、保護者の肯定的回答率は高くない。情報を伝え、肯定的回答率を高める努力が必要である。</p> <p>②インターンシップなど、様々な体験を通じて、自分自身で進路を選択できるようになってほしい。</p>	<p>①保護者を対象とした進路説明会には、多数の参加があった。引き続き、進路情報について積極的に保護者に発信していきたい。</p> <p>②中断していた小学校インターンシップを再開することができた。次年度から、総合的な探究の時間を活用し、ICT機器の利用による主体的なキャリア教育プログラムを実施していく。</p>
特色ある教育活動	<p>文化祭で部活動の発表を参観したが、練習を重ねてきたことが伺え、感動した。小中学校では、部活動の地域移行が進んでいる。</p>	<p>生徒の努力、顧問の専門的指導が実を結び、陸上競技部、弓道部、吹奏楽部が全国大会に出場し、書道部が全国大会で最高位を2年連続で受賞した。</p> <p>高等学校の特性を踏まえ、生徒を主体とした、持続可能で充実した部活動による、生徒の成長支援を進めていきたい。</p>